

令和 8 年度（2026 年度）金沢大学法科大学院入学試験問題
【C 日程入試】法律専門科目試験

刑法 出題の趣旨

問題 1

問題 1 は、刑法総論および各論に関する重要な概念のごく基礎的な理解を問うものである。具体例を設定させるのは、適切な具体例の設定は正しい知識の裏打ちを測るために有用だからである。

(1) は、過失犯論における中心概念である注意義務に関する基本的な理解を問うものであり、それを構成する結果発生の見込みの点と結果発生回避の点にまつわる知識の適切性を確認する。(2) は、財産犯における基本論点である権利行使と恐喝に関する基本的理解を問うものであり、保護法益の議論を通じ現在の判例・学説が何に重きを置いて判断しているかが正しく理解できているかを確認する。

問題 2

問題 2 は、刑法総論上の典型論点である中止行為の相当性と、刑法各論上の典型論点である性的自由侵害罪における傾向犯性の問題を組み合わせた事例問題である。

前者については、中止犯が未遂の一種であることを踏まえ、結果発生との関係で中止行為に求められる内容を正しく理解し、それが事案に適切にあてはめられているかを問うている。後者については、近時の判例が性的自由侵害罪において傾向犯性を一律に認めることを否定した点を踏まえ、事例が妥当に解決されるような規範定立が行われ、またそれが適用されているか確認する。